



ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区

京都部部報

2016-2017年度 BULLETIN

第2号 / 2017.04発行

京都部部長主題	子供たちの未来のためにさあ始めよう、ワイズの叡智と行動で	京都部部長 廣井 武司	京都プリンス
西日本区理事主題	ワイズ魂で更なるワイズの活性化を！	西日本区理事 岩本 悟	熊本にし
国際会長主題	“Our Future Begins Today.” 「私たちの未来は、今日より始まる」 スローガン “Together We Can Do So Much More.” 「手を取り合えば、もっと多くのことができる」	国際会長 Joan Wilson	カナダ
アジア地域会長主題	“Respect Y's Movement” 「ワイズ運動を尊重しよう」 スローガン “Solidify Y's Men Family for Better World” 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」	アジア会長 Tung Ming Hsiao 台湾	

第21代京都部部長 廣井 武司 (京都プリンス)

ワイズとともに生かされた半年



ワイズメンズクラブに入会して35年、いままでのワイズメンとしての生活の中でこれほど充実と緊張の日々を経験したことはありませんでした。京都における6年ぶりの新クラブの誕生に立ち会える喜びを与えていただき、また420名を超える参加者を得ての京都部部会でのホストクラブの本気を感じる事など、本当にたくさんのメンバーのお支えのおかげで今日までやって来れました。ワイズメンの友情に感謝いたします。

部長公式訪問も19クラブの内前期15クラブを訪問することができました。すべてのクラブで予想以上の歓迎を受けて感動いたしました。後期にもあと4クラブを訪問してその感動を共有したいと願っています。

YMCAサービスや地域奉仕活動に追われた前期でしたが、後期も多くのサポートが待っています。より一層の協力をお願いいたします。そしてEMCをいつも意識して友情を深める努力をしてください。仲間を増やすこととともに、友を失わないように気を配ってください。みんなで京都部550をめざして心ひとつになりますように祈ります。

役員・事業主査

次期部長 竹園 憲二 京都ZEROワイズメンズクラブ



この次期になって改めてワイズメンズクラブの部長に就任するのだなと、会長主査研修会を前に気持ちが高ぶっています。部長職とは、会の中でもリーダーシップがある方がされるとおっしゃっていました。ワイズメンズクラブとは、誰にでもチャレンジする事を与えてくださることを改めて実感しました。今の時代と言えば語弊があるかもしれませんが、余裕があるから奉仕するという考えの方は少なく思います。皆さん本当にお忙しい中で自分で自分の時間をつくっ

て活動されていると思います。人の為、メンバーの為、自分の為色々ありますが、苦しみながらも楽しく活動していれば何か生まれると思っています。1人よりも2人、ワイズメンの皆さんの気持ちが一つになれば本当に凄い力があると思います。自信の無い次期部長を皆さんの力で補っていただければ大変嬉しいです。どうぞご協力の程宜しくお願い致します。

直前部長 高田 敏尚 京都ワイズメンズクラブ



直前部長マニュアルというのは、部や区の資料庫をみてもありません。部長経験者だからそれくらい自分で考えろということなのではないでしょうか。いま、必要があって「コーチング」の本を読んでいます。その勘所はGROWの4文字で表されるそうです。目標をはっきりさせる (goal)、問題は何か見定め相手の現状を把握する (reality)、問題を解決するために使えそうなものを探す (resources)、別の方

法がないかを考える (options)、そして目標達成のための意思ややる気 (will) が必要だそうです。部としてしゃしゃりできることは少ないですが、メンバーの増減など個々のクラブでは気がつかないこともあります。大局的な見方、部のあり方や方向性について適確な判断を行えるよう支援する、いまはそんな黒子に徹すべきなのかなと思っています。

書記 松田 博一 京都ウェルワイズメンズクラブ



今期京都部書記を務めさせていただいております、京都ウェルクラブの松田博一です。よろしくお願いたします。早いもので書記を拝命してから半年が過ぎ、残すところ後わずかとなってまいりました。当初より、書記としての事務的な役割とともに、部長と各事業主査、各クラブ会長の潤滑油になればと思ってまいりましたが、十分なことができていないのか不安が残ります。廣井部長には、ご迷惑ばかりかけているのではないかと反省しております。しかし、私自身がワイズ活動を楽しむことはしっか

りとやれているのではないのでしょうか。書記の仕事も新しい経験として楽しむことができているし、皆様との交流も本当に楽しいものです。それに、北京都フロンティアクラブのチャーターにも立ち会うことができました。どんどん楽しいことが増えてきているように思います。また、自クラブの活動を振り返れば、多くのクラブの活動を参考にさせていただくことで、足りない点も見えてきたように感じます。あと半期も頑張っていこうと思います。どうか皆様、至らない点も多いかと思いますが、よろしくお願いたします。

書記 **小野 敏明**

京都プリンスワイズメンズクラブ



京都部の書記を拝命して早くも半期が経過。当たり前ではありますが、現在まで大きな過誤もなくお役を務められたのも、皆様方のご協力とご支援があったからこそと深く感謝致します。

部役員を務めるにあたり、各クラブ会長並びに役員の方々との交流はもちろん、西日本区の役員各位な

ど、自クラブ外のワイズメンの人柄にふれる機会を得た事は大変貴重な体験となりました。

残り半期となりましたが、大きな過誤なく役を務めさせて頂く所存です。引き続き、皆様のご協力とご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

会計 **飯尾 豊**

京都プリンスワイズメンズクラブ



早いものであつと言う間に上半期が過ぎてしまいました。皆様のご支援とご協力により無事会計業務を進めさせていただき感謝しております。また京都部キャビネットとして北京都フロンティアクラブの設立総会とチャーターナイトに参加できたことはたい

へんうれしく思っております。あと残り半年になりましたが、後期京都部部費の徴収、仮決算、そして本決算と、会計として重要な役目が残っております。一生懸命に頑張りますので前期同様どうぞ宜しくお願いいたします。

YMCAサービス・ユース事業主査 **太田 雅彦**

京都洛中ワイズメンズクラブ



上期は7月3日、「サバエ開設ワーク」と「リトセン夏の準備ワーク」の同日開催を皮切りにスタート致しました。同日開催のため片方が人手不足とならないかが心配されましたが、みなさまのお蔭でそれなり無事乗り切れたと思います。続いて、7月10日にサバエワーク第2弾を、9月4日にリトセン夏の準備ワークがあり、多数の参加人数のもと無事にいうことが出来ました。これらの奉仕作業は毎年のことながらスゴイと感謝です。10月30日は京都YMCA 国際協力街頭募金が「世界で紛争や災害に苦しむ子ども達の支援」を目的に、京都市内10ヶ所でワイズ以外の人々も多数参加のもと総勢310名が各々の街頭立ちを行いました。11月20日には

リトセンオータムフェスタが、来場延べ300人余り(内、YMCA 専門学校日本語科留学生33名を含む)を得て開催され、場内では熊本地震被災者支援特設チャリティーバザーのコーナーも設けられました。他の取組みにつきましては紙面の関係で割愛致しますが、京都部HP 主査通信をご参照願います。

下期は、リトセンチャリティゴルフ、第4回 The Y Cup ミニバスケット大会、リトセン夜桜フェスタ、YYY フォーラム、第13回インターナショナルチャリティラン 2017 インかもがわ、などに向けての呼びかけに取組みますので、みなさまからの参加協力・運営協力・資金協力などをよろしくお願い申し上げます。



リトセンオータムフェスタ2016
 「嵐山文化と自然の会」
 による 和太鼓 演奏



リトセン-9.25.2016
 様々な団体からの
 子ども達による賑やかな大会

事業主査

地域奉仕・環境事業主査 山川 新一 京都めいびるワイズメンズクラブ



今期も早いものでもう、半分が過ぎました。部長公式訪問の随行も後は北京都フロンティアクラブを3月に残すだけとなりました。今まで訪問させて頂いたクラブの皆さんには大変温かいおもてなしを有難うございました。夏から秋にかけて各クラブの支援されている多くの事業も私の力不足で一緒にできない事があったこととお詫びします。そんな中でも、いくつかの事業には参加させて頂き有難うございました。また今期、廣井部長の主題でもある「子どもたちの未来のために」多くのワイズが智恵を絞り汗を流して頂いた事業もあり京都部各クラブがそうした事業が継続的に行われている事に感謝致します。さて、2月にはCS、TOF、FFの協調月間を迎えます。ここで少し、献金についてご説明致します。CS献金は西日本区のワイズ運動を支えるための資金で昔は「アジアファンド」と呼ばれていたそうです。献金はお年玉年賀切手シートと現金の2本立てです。TOF献金は世界の飢餓に苦しむ人々の事を思い全世界のワイズメンが展開しているプログラ

ムです。例会の食事を抜いてその費用を捧げようという主旨です。FF献金は西日本区独自の献金で日本やアジアで厳しい状況に置かれた子どもたちの健全育成を願って使われています。我々は親睦を旨とした世界的友好団体であると同時に世界的奉仕団体の一員でもあるわけです。今一度その意義と思いを考え、もしまだ献金がお済でないクラブがありましたらどうぞご協力を宜しくお願いします。

2月の26日には京都部CSチャリティーボウリング大会が行われます。例年通り北区のしょうざんリゾートボウリング場でウイングクラブさんのホストの元、元気いっぱい楽しく行いたいと思いますので多数のご参加をお待ちしています。今年の募金は、昨年4月に起こりました熊本地震の復興に取り組む熊本YMCAへの支援金として送りたいと考えています。

残り半年となりましたが、京都部の多くのワイズメンの方々に支えられてお役目続けてこられた事に感謝します。あと半年どうぞ宜しくお願い致します。

EMC事業主査 久保田 雅彦 京都グローバルワイズメンズクラブ



今期、EMC事業主査を仰せつかっております京都グローバルクラブの久保田雅彦です。各クラブにおかれましては会員増強をクラブの重要なテーマとして捉えて頂き、新入会員を迎えるための事業が数多く開催されました。EMCゴルフ、EMCバーベキュー、ゲスト参加型のEMC例会等の思考を凝らした事業を数多く開催され、複数のクラブが新入会員を迎えられております。また、9月11日に北京都フロンティアクラブの加盟認証状伝達式が執り行われ、京都部に19番目の

クラブが発足されました。この新クラブ設立が京都部の更なる発展に繋がることを確信しております。期首メンバー484名でスタートしました京都部ですが上半期終了時(12月末)は514名と30名増で推移しております。今期の京都部としましては期末時に550名を目標にております。各クラブにおかれましては上半期と同様に下半期も会員増強に高い意識を持ってEMC活動に取り組んで頂けることを心よりお願い申し上げます。

国際・交流主査 **上澤 正廣** 京都エイブルワイズメンズクラブ



2017年2月4日(土)、5日(日)の二日間、静岡県御殿場の東山荘(日本YMCA同盟)にて12年ぶりの第2回東西日本区交流会が「語ろう!未来につなぐワイズスプリットを!」テーマに370名が参加して開催されました。京都部からも57名の参加でした。

午後2時、東山荘開設100周年を期に本館が新しく完成しその本館講堂で利根川恵子東日本区理事の開会の点鐘で開式。セレモニーの後「YMCAのブランディングとワイズ」と題して日本YMCA同盟理

事中道基夫YSの講演、つぎに東山荘の歴史を所長から歓迎のことと合わせて紹介されました。第2部は交流プログラム、私はIBC/DBCの分科会に参加しました。内容は参加者クラブの現在の交流状況から発表、メンバー数が減少し中々IBC/DBCに取り組めないとの意見、また周年事業で締結を目指しているなど、各クラブ事情により様々でした。第3部は体育館にて夕食懇談会、色々な人を紹介して頂き良き交流の場となりました。

京都部PR委員長 **岡西 博司** 京都プリンスワイズメンズクラブ



前期の後半から、PR委員会に参加させて頂き、この委員会は何をしたらいいのかを考えさせられました。

結論から言えば、ワイズメンズクラブを一般の方々に知って頂く事。そして、各ワイズのメンバー同士がクラブを越えて交流できる手助けをする機関。

言い換えれば、EMC活動をしやすい為のお手伝いであると認識しました。

毎月一度の委員会を持ち、無い知恵を絞り、具体的な行動を考えました。

1) 京都部のホームページをどうしたら見てもらえるか?

この問題は非常に大きな問題だと改めて認識しました。おそらく80%以上のメンバーは見た事がないでしょう。昨年来始めたHPの表紙のカレンダーの活用を活性化するために、各クラブの事業や例会等のアピールを逐一掲載するよう各クラブにお願いしました。ぼちぼち、その成果が出てきたかな?

2) 各クラブの「のぼり」を一本進呈。

各クラブが活動される時に自分のクラブののぼりを持参して頂き、一般の方々に我々〇〇ワイズメンクラブが活動していることをアピールして頂くためのものです。京都部から頂いた予算をこれに充当させてもらいました。

3) 京都部の各メンバーの会社紹介ページの充実

昨年来されてきたことですが、ワイズにはどんな方が居られ、どんな仕事をされているのかを紹介することにより、ワイズメンズクラブを知ってもらおうとする企画です。今期の後半にはこの事をもっとアピールしてゆきたいと考えています。

大まかに言えば、今期させて頂いた事ですが、まだまだやらなければならないことが山積みになっています。あと半期、いや、次期に向けてもっと活動したいと考えています。

各クラブ会長

京都ワイズメンズクラブ 会長 三保 俊幸

主題「さあもう一度みんなで」を見直し、後半の展開へと繋げたいと思っています。右往左往しながらメンバーの協力を得られ、思わぬ経験もできた半年でした。

例会ではかねて京都クラブが取り組んで来た AIDS と、新たに「発達障害～YMCA サポートプログラム」の講師例会を実施し、今後の方向を示しました。対外的には訪問した DBC の十勝ワイズメンズクラブや、IBC の韓国 NAM TAEGU でも多くの出会いと経験がありました。若手の会(チーム・新しい風)で企画する3月例会は「よしもと」からの講師例会をすすめています、EMC の一環として会員増強に繋げる例会になればと思っています。

他にいくつかの企画はトライしましたが、思いの外難渋しています。この貴重な期間も残り少なくなってきました。一つでも多くの未来へ繋がるプログラムになるよう走りきります。



福知山ワイズメンズクラブ 会長 堀 一博

残念なことに現在「福知山クラブ」はまさしく存亡の瀬戸際にあると言わざるを得ませんが、とりあえずこの半期の活動を振り返ることにいたします。



- ・7月例会 福知山市民合唱団の重鎮を招き講演
ゲスト・ビジター8名の参加
- ・7月 第31回クリーン弘法川&魚つかみ大会 60名の参加
- ・8月例会 福知山ライオンズクラブ会員の2名を招き納涼例会
- ・9月 東稜クラブ様の例会に招かれて2名参加。
福知山クラブについてプチ講演。
- ・9月例会 演劇サークル「わっぱ」の代表を招き、
スライドを交え地元の民話の紹介
ゲスト・ビジター6名の参加
- ・10月 部長公式訪問 廣井部長以下4名の来福
- ・11月 福知山ライオンズクラブ例会訪問
EMC 事業主査久保田氏も同行
- ・11月例会 メガネ工房ラクーラ
高橋氏の講演 ゲスト・ビジター5名の参加
- ・12月 クリスマス例会 ミニコンサート
ゲスト・ビジター24名の参加
- ・1月 第40回書初大会49名の参加。新年会
- ・2月 福知山YMCA理事長足立長逸氏病状悪化により理事
辞任・ワイズ脱退表明。追隨して1名が脱退表明。
また同盟神崎氏より、福知山YMCAが準加盟の要件を満たしていないとの勧告もあり、現在早急に福知山YMCAとワイズの進退を協議する事態となっている。



京都パレスワイズメンズクラブ 会長 安達 雅直

クラブのメンバーや京都部の皆さんに支えられ、無事に上半期を終えることができました。

半期を終え最も誇れることは、多くの新入会員を迎えたことです。ワイズメンズクラブ全体の課題である

会員増強はパレスクラブでも力を入れており、結果として上半期に4名、1月の第二例会で3名の同時入会式を行い、現時点で7名を迎えました。数が全てではありませんが、未来に繋がるEMC活動ができています。

また、今期は森田国際交流事業主任を輩出していることから、交流事業も活発に行なっています。8月の国際大会でのIBC交流会、11月には来日された台中EGクラブの京都案内、そして2月には振替例会とした東西日本区交流会でDBCのメンバーと親睦を深めることができました。

下半期では、期初に立てた目標に向かって、より活発に事業を行い、円滑なクラブ運営をしていきたいと思っています。



京都ウエストワイズメンズクラブ 会長 角谷 多喜治

京都ウエストクラブでは、クラブ発足後、現在に至るまで…同一人物が会長となったことがありません。このことから37年間に渡り歴代会長を先頭にメンバーが、確実にEMC活動行ってきた成果であることは明らかです。

この歴史を受け、会長として私自身が行うべきことは、素晴らしいワイズメンの交流を例会等をきっかけに「未来のワイズメン」となり得る方々に見て頂き…そして感じて頂くことだと思います。その為には、先ず私自身が「交流」を楽しみ、伝えること…。

7月からの上半期は、他クラブとの交流の機会を多く設けたこともあり、多くの素晴らしい出会いがありました。

下半期は、新たに加わったメンバーやこれから会長となるメンバーに繋げていけるような「クラブの在り方」を考え続け、今期の会長主題であるLove of humanityを意識しながら、会長の役目を果たしていきたいと思っています。



京都めいぶるワイズメンズクラブ 会長 松村 康弘

会長も3回目ですが、あっという間に半年が過ぎ、下半期に突入しています。今期の年間行事予定も特別なものとなっています。それは、昨年、発生した熊本地震で熊本YMCAを支援するため、昨年に支援金をDBC締結先の熊本ひがしクラブに贈呈し、今期も何とか熊本地震の支援金をお渡しするために、通常例会を4回減らして支援金の一部の資金を捻出しています。その様な中、めいぶるクラブのキックオフ例会は、恒例のサバ工開設ワークです。 歓迎ゲートの組み立て、24期会長の時にIBC三国合同奉仕資金アクトとして寄贈した旗台のポール立てが、メインの作業ですが、従来は、めいぶるメンバーだけで可能だった作業も参加者不足から他クラブにお願いしての協業となり、一番ツイキックオフ例会も無事終了です。7月の第二例会総会で事業計画・予算の承認を頂き、第34期の正式スタートです。8月の第一例会は、恒例の納涼例会、ドライバーに志向凝らしていただき、イタリアンを「SODO東山」で美味しゅうございました。第二例会は、支援先である養護施設「積慶園」、「西陣会 ふらっと」に支援金をお渡ししました。9月は第一例会で京都部会、第二例会は廣井部長の公式訪問と藤井功輔君の今期初の入会式が出来たことが大きな喜びでした。11月は、支援先の「YOU・友フェスタ」のイベントや「YMCA祭」に焼きそば屋台での参加、12月は、マゴメットも大勢参加いただいた楽しいクリスマス例会が出来ました。下半期は、YMCA事業も多く控えていますが、何といっても5月6日(土)～8日(月)に三国IBC会議・合同例会を開催するため、中澤国際交流委員長を中心にクラブ全員の力を結集して、交流事業を進めていきたいと思いを。



京都キャピタルワイズメンズクラブ 会長 森 繁樹

半期を振り返って、簡潔に言えば、大きなトラブルもなく、なんとかあった、振り返れば順調な上半期だったように思われます。会長という役割によりやく馴染んできたかなといったところです。今期、Yサ委員会、CS委員会、ファンド委員会、プリテン委員会、EMC委員会の5委員会で、歴代委員長座談会を開催していただけるよう会長の活動計画に掲げました。現在2委員会で開催され、座談会の内容を役員会で報告してもらいました。委員長経験者の忌憚のない意見で話が尽きないそのような座談会となりました。残りの3委員会についても下半期で開催を予定しております。下半期で、大きな企画として2月第2例会でメネット例会を企画しております。西日本区大野次期理事の講演、メネットによるピアノ



演奏、内容の濃い企画となっております。もう一つは5月にYMCAリトリートセンターで行われるリトセン・メタセコイヤフェスティバルです。年々充実した内容、参加者も年々増えております。素晴らしい独自事業となっております。次々期会長が決まれば、会長経験者からは、「もう会長の仕事は、ほとんど終わったのも同然やなやー」と油断してしまうような励ましの言葉を頂きます。最後の6月の役員会まで気を緩めないで、タイトルの通り、残り4ヶ月を更に気を引き締めて走り抜きたいと思いを。

京都プリンスワイズメンズクラブ 会長 蒔田 茂夫



二期連続会長を拝命してから早くも半年が経過しました。例年と同様、サバ工開設ワークからはじまった今期は9月に控えた京都部会の準備一色へと進んでいきました。京都部会は少人数ながらメンバー全員の協力により盛会となりました。みんなで踊ったフラッシュモブは特に印象に残っています。10月には3クラブ合同例会のホスト、グループ討論ゲームではわたしの凝り固まった考え方にハッと気付かされました。11月にはYMCA学園祭でホットドッグ100食完売の後、おいしいお弁当を頂きました。12月のクリスマス例会は兼松牧師による本当の!?クリスマス、楽しく過ごせました。

少人数のクラブゆえひとり何役もこなさなければならない現状の中、毎月の例会はもちろんいろいろなクラブ事業を支えて頂いているメンバーの皆様には感謝の気持ちは尽きません。前半が終わり後半へ、ラグビーやサッカーでいうところのハーフタイム。ハーフタイムは後半に向けて監督やコーチ、選手同士から前半の反省や後半の戦術などを確認し合う時間。プリンスクラブの今年度、まさに今がハーフタイム。前半戦に立ち



上げたプリンス30プロジェクト、今期メンバー数を30人にという目標。この事を頭に描きながらチームプリンスの後半戦を戦いたいと思っています。まだ半年、あと半年？結果はさておき今できることを本気で一生懸命することが大切。

根性論全盛時の体育会育ち、50歳になった今でも気合と根性で何とかかなと思っているわたしです。

残り半期となった1月、プリンスクラブメンバーには残りの今期を本気で戦いましょう!? いや本気で楽しみましょう。と鼓舞しました。わたしたちが本気で楽しいと思えるクラブになった時にはプリンス30プロジェクトも自ずと成功すると思っています。今一度『いつでも本気!』で頑張りたいと思っています。

京都部長はじめ京都部役員のみならず、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

京都センチュリーワイズメンズクラブ 会長 平井 一郎



会長就任以来、早くも半年以上が過ぎました。さて前半を振り返りますと最初の公約のメンバー増強が未達で、6月中旬にひとりでも増やすのが大きな問題です。それと三月の熊本大震災復興支援チャリティーコンサートをいかに、成功するかメンバー全員ががんばって、取り組んでいます。

京都ウイングワイズメンズクラブ 会長 佐々木 貫二



この半年間、本当にメンバーに助けられた半年でした。妻の病気の看病などで例会、事業、ワークの参加すら出来ない日々があり会長としての仕事、役目を果たせない事はかりでしたが、メンバーに励まされ、勇気、力を貰い頑張ってきた。

人として、そしてワイズメンとして、すごく大事な事を実感させて頂いた半年でした。メンバーには感謝感謝の気持ちでいっぱいです。

クラブとしては、事業、ワークを若いメンバーが積極的に参加し活気のある活動が出来始めベテラン、中堅、若手、メンバー内の雰囲気は良いものを感じています。

次期には、ウイングワイズメンズクラブにとって大きな事業でもある30周年記念例会も控えています。次期会長へ良い雰囲気でもパトタッチ出来るよう、個人的にも記念例会へ向けての目標をつくり、そしてクラブとしてもみんなで向かっていける大きな目標をつくり進んで行きたいと思っています。

京都洛中ワイズメンズクラブ 会長 竹山 直司

今期会長を任命されて早くも半期が過ぎました、今期会長主題の『常に初心で挑戦』で私自身も常に初心で色々なことに挑戦してまいりました。



洛中クラブとしても毎年行れてる行事も含め、メンバー増強と新事業についてもクラブ内にて熱く議論を交わらせて充実した上半期になったと思います。

下半期は前半にて持ち上がった議題と新事業についてもっと具体的な話を進め、私が会長時になんとか話をまとめて次の会長にバトンタッチをしたいと思います。

また来期は30周年もあり今期以上に盛り上がる洛中クラブでありたいと思います

京都エイブルワイズメンズクラブ 会長 山根 拓也

京都部の皆様には、日頃より大変お世話になっております。

私が会長職に就きまして早くも6か月が過ぎましたが、京都エイブルY,Sメンズ・クラブは、少人数のクラブの為に、継続奉仕活動を行う事も大変な負担になって来ております。



少数精鋭主義的に、クラブ員の皆さんがそれぞれに、責任感をもって、頑張っている姿が大変有り難く思っております。

しかし、このままでは、いつか疲弊して活動内容も縮小しなければならないのかな？との思いで、メンバー増強に努める為に、親子クラブの繋がりだけでなく、少しでも多くのクラブさんのご協力をお願いして、多くのメンバーによる、楽しく、有意義な例会を開催して、Y,S活動の啓発と新メンバー候補者様も招待出来るような、合同例会、合同開催講演親睦会などを開催致したいと考えております。京都部19クラブの皆さんに宜しく、ご理解とご協力をお願い致します。

残り半期～次年度に繋ぐ、活動にしたいと思っております。

京都グローバルワイズメンズクラブ 会長 情野 剛

まずは各事業委員長がその役目・役割に徹していただいたことにより、数々の難関を乗り越えて各例会・YMCA事業・地域事業が成功裏に終えられたことに厚く感謝の念を述べたいと思います。



また、京都グローバルワイズメンズクラブのスローガンである「世界の子供たちに笑顔を！ Smile,Smile,Smile」がしっかりとメンバーの皆様と根差していることにより、同じベクトルに向かって事業を進めることが出来ていることは、例会のみならず委員会や同好会など様々な場面で親睦の場を設けていただいた先輩方から「奉仕の心」の教えと育みによる結果であり、非常に誇れる大切な資産だということは自明の理と言えるところであります。

更に期首51名のメンバーが、半期で55名に増え、25周年に向けて更にその勢いが増して「親睦の和が広がって」きていることも特筆すべきところだと自負しております。

これも偏にメンバーの皆様おひとりおひとりのクラブに対する熱い思い「情熱」があるからこそであり、あと半期のみならず、これからも「奉仕の心」と「新しい仲間との親睦の和」の連鎖が引き起こされていくことを確信しております。

京都みやびワイズメンズクラブ 会長 中原 茂

今期の初め、取り敢えずメンバーを増強しなければ、何が何でもメンバー増強とスタートしたが、半期を終えて1名減で折り返しを迎えることとなった。学生時代の友人にあたるが、なかなか入会までとはいかない。



むづかしいものである。そんな弱気になっていた時、他クラブの今まさにこれから入会式をされる方と話す機会があった。入会を勧められたのは、5年前とか7年前ということであった。最初からいつかは入会するつもりだったようであったが、これだけ時間をかけて入会される方もあるのだと知り、俺達もまだまだいけるんだと勇気づけられた。つい先日、入会希望の方がおられるとの情報が入ってきた。

なんか、流れが変わりそうな気がします。あと残り4ヶ月メンバー増強の気持ちを切らさずいろんな人に一緒に活動することを勧めていこう。4ヶ月なんて言わず、今期がダメなら次期でブースターを取るつもりで……。メンバー増強ばかり書いてきましたが、充実した例会、地道な奉仕活動もEMCに繋がっていることは承知しております。

ここから、いい流れになっていくそんな予感がします。

京都トップスワイズメンズクラブ 会長 河合 博之



この半期を改めて振り返ってみますと今期会長主題として『温故創造』副題として～大木から銘木へ～を掲げ、例会のあり方を見つめ直し8月「部長公式訪問例会」、9月「お月見例会」、10月講師/奥野僚右氏、11月講師/濱田孝一氏、12月「クリスマスファミリー例会」を温故の部分を表現できたのではないかと考えています。更にトップスクラブの例会には毎回、他クラブのワイズメンや多くのゲスト様がお越しいただき、個人的には京都C、京都グローバルC、京都フロンティアC、京都洛中C、京都ウェルC、京都ウイングC、京都プリンスCの7クラブの例会、並びにびわこ部会に訪問し大勢のワイズメンと交流を持つことができワイズメンズクラブの醍醐味を満喫し充実した半期を過ごせたことをクラブメンバーの皆様を始め、お世話になったワイズメン、例会にお越しいただいたゲスト様へこの場をお借りし改めて感謝申し上げます。

下半期にはDBC締結先の沼津クラブ様50周年記念例会を初め、Yサ事業、地域奉仕事業が目白押しです。クラブ一丸となり更なる飛躍を期待する次期へ繋ぐ半期としたいと思います。

京都トゥビーワイズメンズクラブ 会長 安井 基晃



半期を振り返って、とりあえず残念なのはメンバー増加出来なかったことです。トゥビークラブは32名のクラブですが出来ましたら来期20周年ですので、下半期はメンバー増加を頑張っていきたいと考えております。2月には4名のメンバー候補のオリエンテーションも開催しますので入会にむけてクラブ全員で交流を深めて入会したいと思うクラブにしていきたいと考えています。DBCは沖縄クラブさんと8月DBC締結にむけての確認式を沖縄で行いました。締結式は京都で式を行いますので当日沖縄から来れないメンバーの為に沖縄で締結にむけての確認式をさせて頂きました。下半期はEMC例会やメンバーの親睦の為に花見など色々委員長が企画して頂いていますので、あっという間に半期終わってしまいそうですがメンバー全員で頑張っていきたいと思っています。

京都東稜ワイズメンズクラブ 会長 延近 昌彦



東稜クラブでは地域に根差した活動として清掃活動を行っています。今期は新しい試みとして、以前より準備を進めてきました山科で行われる四ノ宮祭りにおいて清掃活動を開始することができました。

まだまだ小規模でこれからの事業ではありますが、ゲストや地域の方に御協力頂けるような事業にしていきたいと思っています。

○下期に向けて
 1月にはメンバー数の増強に向けたEMC企画として鶴橋コリアンタウンツアーを開催しました。たくさんのゲストにもお越し頂き賑やかな場となりました。

2月の例会でも多くのゲストに来て頂いたので良い流れを維持し、メンバーを少しずつでも増やしていきたいと思っています。



京都ウェルワイズメンズクラブ 会長 奥村 治

振り返ってみますとあっという間に前期が終了していました。

早々に新会員2名が加わりスタートする事が出来ました。今回は、メンバー数も連絡主事を含めて10名となり2桁に乗りました。期のスタートに掲げまし

たスローガンの『 話・和・輪 』～繋げようウェルの3つのW～も人数が増員した事で輪の大きさが広がり和やかな会話でクラブ間の土気も上がってきたように感じます。新期事業の動物愛護への取り組みも例会（京都市動物愛護センター所長によりますご講演）とチャリティーゴルフコンペの開催により基金を募る事が出来ました。今後の継続事業として希望の光が差し込んできたように実感しています。例会開催と、チャリティーコンペにご協力いただいた皆様に改めまして



お礼申し上げます。

また、当クラブが一番重点を置いているYサ事業は少人数ながら積極的にサポートする事ができました。青少年健全育成に貢献されますYMCAのサポートに今後も積極的に関わりを持ち笑顔に満ち溢れる子供たちの元気な成長を見守って行きたいと思えます。

さて、残り半期となり寒い峠を越えと桜を心待ちにする季節を迎えます。スポーツの開幕でもありと同時に数ある行事も勢いよくスタートされます。今はその準備段階の時季で有る事を確認し体と心のウォーミングアップをして残り半期の事業計画に集中して行きたいと考えています。勿論、現状に満足することなく今後も1人でも多くの会員増強に向けて励んで行きたいと思えます。その為には魅力ある活動や事業を通じてウェルクラブの存在価値を高めて行かなければいけません。その覚悟を持ってメンバー協力の元、活動して行きたいと思えますので前期同様に温かいご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

京都ZEROワイズメンズクラブ 会長 宮越 寛

ZEROでは、上半期にクラブ独自の事業としてYサでGCS支援としてSHOE TIME2016、そしてCSでは日向大神宮環境維持整備サポートと南丹市天引区の村おこしサポート、ファン

ドでは10周年記念ACT資金の一部を集める為に広く一般の方にご参加いただいたチャリティーサマーマイブを実施しました。また、EMC事業では多くのゲストにもご参加いただきEMCボリング大会を開催し2名の新メンバー入会に繋がりました。交流事業では前期にIBCを結んだハワイのカイムキクラブより一家族だけですが入浴いただき、映画村へご招待し楽しんでいただきました。熊本地震関連では激励を兼ねて阿蘇クラブの炊き出しをお手伝いに訪問させていただきました。

そんな中で感じたことは、いかにして情報を伝え共有し認識してもらうことが難しく大事であるかということを感じました。クラブ内で何か物事を始める時には、「情報を伝える→情報を共有し認識してもらう



→共有し認識してもらった情報をもとにどのように具現化するか意見を交わし議論してもらう→具現化する為の内容を決める→実行に移す」と、このような流れかと思うのですが、まず伝わらないと始まりません。また、同じ伝え方でも受け止める方は千差万別。下半期ではこここのころに気配りし、更なるクラブの成長を目指し、部長輩出期となる次期へ繋げて行きたいと思えます。

*2017年9月10日(日)第22回京都部部会メンバー全員でワイズの繋がりと楽しい部会を目指して準備の真っ最中です！皆さん、ZEROは「どんなんしょのかな？」っと、是非是非ご自身の目で確かめにご参加願います！！

北京都フロンティアワイズメンズクラブ 会長 辻 直紀

当クラブは、昨年9月にチャーターし、本年3月を以って約6ヶ月が経過致しました。

まだ例会も手探りの状態でクラブ運営が進んでいますが、半年前を振り返りますと、少しはクラブらしくなってきたのではないかと思います。



まだまだ地域奉仕活動と言えるものが出来ていないのが現状ではありますが、他クラブの活動内容を参考にしながら、一歩ずつ前に進んでいきたいと思います。

また、舞鶴YMCA国際福祉専門学校におきましても、この3月には開校後、初の卒業式が行われ、卒業生全員の地元企業・地元福祉施設への就職が決まっており、地域社会での重責を担うYMCA校のサポートも今後の当クラブの役割であり、これからの課題でもあることが明確になった半年間でもありました。

私の会長としての任期も残すところ3ヶ月となりました。良い形で2年目が迎えられる様に次期会長へバトンが渡せられればと考え、これからのクラブ運営が出来ればと思います。